

**人間は 人間として平等である
一人ひとりの人間性には違いがあり 平等ではない
他人と違う自分に 自信を持つ**

比較文化という言葉があります。ヨーロッパにはヨーロッパの、アメリカにはアメリカの、アジアにはアジアの、そして、日本には日本の、それぞれの地域で育まれてきた生活を基盤とした文明や文化があります。

風俗、文化、慣習は、長い年月をかけて、そこに住み生活を営んできた人々によって作られてきたもので、地理的、歴史的な諸条件と地域を取り巻く環境等によって異なります。

異文化を、さまざまな観点から比較し理解を深め、交流を高める研究が「比較文化」です。

一人ひとりの人間について同じように考えて見ると、

- 肌の色が違おうと
- 話す言葉が異なっても
- 顔かたちが違おうと
- 男性であろうと女性であろうと
- 大人であろうと子どもであろうと
- 親であろうと子どもであろうと

人間としては、みんな同じで、平等です。

しかし、人間性について考えて見ると、そこには みんな違いがあり平等ではありません。

- 男性と女性の性の違い
- 大人と子どもの違い
- 性格の違い
- 資質能力の違い
- 成育環境の違い
- 親と子の違い
- ものの見方・考え方の違い
- 社会における立場の違い
- 体質・体格の違い

等々、顔かたちが異なるように、一人ひとり私たちには異なるところが必ずあります。

ですから私たちは、人間としての平等性と人間性の不平等性を認識して生きて行かないと、大きな間違いを起こしてしまいます。

基本的に、人間は、一人ひとり異なることを認識すべきです。違う、異なることを前提にした『自分の生き方・あり方』を探し、「生きがい」を求めて努力していく事が大切ではないでしょうか。

他人と違う自分に自信を持ち、夢や希望を失わないことが何よりも重要です。

